

競技委員長より

燦木会幹事 中川 彊

燦木会も今年の3月で発足10周年となります。会員の皆様のお陰で無事続けて来られたことを感謝いたします。

さて、年頭にあたり燦木会のモットーとしているエチケットについて、今一度確認してみたいと思います。

R&AとUSGA合同裁定集の第1章に次の様に書かれています。(一部抜粋です。)

◎ゴルフの精神

ゴルフは殆どの場合レフェリーの立ち会い無しに行なわれる。またゴルフゲームは、プレーヤーの1人1人が他のプレーヤーに対しても心くばりをして、ゴルフ規則を守ってプレーするというその誠実さに頼っている。プレーヤーは皆、どのように競い合っている時でもそのようなことに関係なく、礼儀正しさとスポーツマンシップを常に示しながら洗練されたマナーで立ち振る舞うべきである。

◎安全の確認

・プレーヤーはストロークや練習スイングをする場合次のことを必ずよく確かめるようにするべきである。

- a) 近くに誰も立っていないかどうか。
- b) クラブや球や石、砂利、木の小枝などが飛んでいって当たりそうな場所に誰も人が立っていないかどうか。

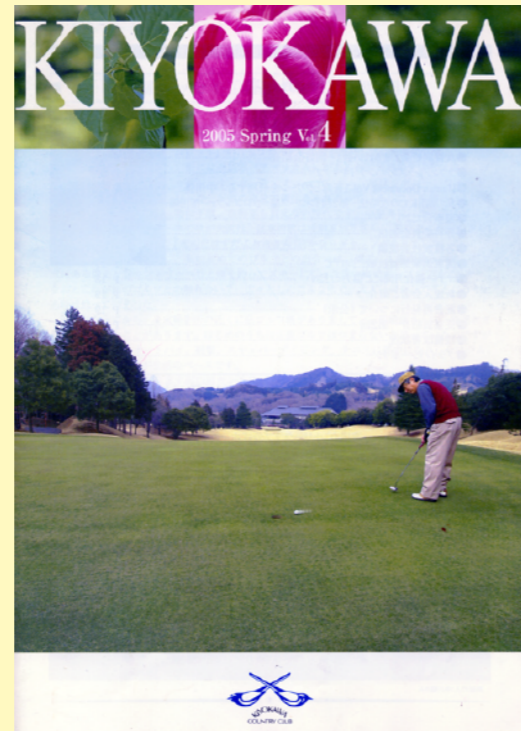
・打った球が誰か人に当たる危険性のある方向に飛んでいった場合、プレーヤーはすぐに大声で危険を知らせるべきである。

そのような場合に伝統的に使われている掛け声は「ふぉー！！」である。

◎他のプレーヤーに対する心配り

- ・プレーヤーは常にコース上の他のプレーヤーたちにも心配りを示すべきで、むやみに動いたり、話し合ったり、不必要に音を立てたりして、他のプレーヤーの邪魔になるようなことをしてはならない。
- ・他のプレーヤーがプレーを始めようとしているときに、プレーヤーはそのプレーヤーの球の近くや真後ろあるいはホールの真後ろに立ったりしてはならない。
- ・パッティンググリーン上で、同じ組みのプレーヤー全員がそのホールのプレーを終えるまでその組のプレーヤーはパッティンググリーン上か、その近くで待っているべきである。

抜粋の一部ですが、当たり前の事柄で今更と思われるかもしれませんが、ついうっかりして、やってしまわないよう、今一度確認をしたいものですね。



懐かしの(?)倶楽部会報表紙(2005年・春号)  
1番グリーンに於ける若き日の(!?)中川競技委員長

燦木会は再来月(2016年3月)で10周年を迎えます。2周年にあわせて創刊された燦木会会報第1号の巻頭、後藤前会長・石井現会長の挨拶文を再掲載いたします。

燦木会2周年を迎えて

燦木会顧問(前会長) 後藤至彦



燦木会の会員の皆様のお陰で、平成20年3月に早くも2周年を迎えようとしています。振り返りますと当時選挙管理委員会の一部の人達で、メンバー・ビジターの人達が自由に楽しく清川CCでゴルフプレーが出来る会を立ち上げようではないかと話が持ち上がり、何人かの方々にお声をかけさせて頂きました。始めは、多分、石井様・中川様・植松様・斉藤様・平野様の皆様方だったと思います。その後、私共の考え方に同調して下さる方々にそれぞれがお声を掛けさせて頂き、平成18年3月23日に14名の有志でスタートいたしました。プレー終了後最初のミーティング。未だ会の名称・表彰規定も決まっていなかった為、皆様のお知恵を拝借し、毎月第三木曜日に開催する事で日程が決り、名称も浅見様のご進言でさんもくと決まりました。そして暫定的に世話役も決めさせて頂き、それが現在の人達です。また会の名称の標記も、石井様の「きらびやかなさま」を表す「燦」の文字を使い、木曜日に会員がきらびやかに輝きましょうという趣旨で、燦木会と決定しました。表彰規定も斉藤様ほかの皆さままで決定しました。お陰さまで現在の燦木会は人格・技術の面で、清川CC中で筆頭の親睦会に成長していると自負しています。中身の濃い少数精鋭主義で燦木会がいつまでも名門の会で有るように皆様のご支援をお願いいたします。

2周年燦木会を迎えて

燦木会(新)会長 石井寅三郎



早いもので2周年になります燦木会、50名と友人が一気に増え、私にとってはこの上のない大きな財産となりました。この会にご賛同を頂き素晴らしい紳士、淑女がこれほどの短期間に、一同に会したことに関心しているのは私だけではありません。会を重ね出席する度に皆さまから教えられることは多く感謝いたしています。

さて、最近日本の人はどうしたのかしら、ヨーロッパ留学中の親戚の娘が1時帰国し、企業偽装問題報道の多さに驚いているようです。偽装とはこの位のことは良いのではとの安易な気持ちが当たり前前になり、あの人も同じことをやっているから大丈夫、しかし大問題になり我に返る。と言う私にもこの燦木会で知らず知らず重大なミスをしてしまいました。何故ならばホールアウトすることと規則にあるのに係わらず、この位はOKとボールを拾い勝手に判断してプレーを継続した事実があります。11月燦木会にて中川彊競技委員長よりルール確認の説明があり、我に返った記憶があります。

私は小学1年生(昭和20年)から大学卒業までの16年間、一貫教育の私学に学び院長である哲学者「安倍能成」の教えを受けました。院長の教えは正に単純そのもの「人間嘘をつくな、人間正直たれ」を16年間、卒業式などあらゆる行事の度にお話しされ、私が卒業した後も継続されていたと聞いています。学生、教授、事務員、用務員、ともどもあまりの変化の無い教えに閉口した記憶があります。当たり前のことと考えあまり気にも掛けませんでした。今の世相を予測する予見知識に改めて尊敬の念を覚えるものです。今年1月古希を迎えこれからも修行、皆様からお教を頂くことが多々あると思ひ、残された日々ルールを守り楽しく過ごして行きたいと思っています。

会員名簿

(30名・五十音順・平成28年1月現在)

青木 伸一	石井寅三郎	石川 晃	伊藤 侑秋	漆畑 芳雄	海老沢 均	小川 和朗
荻原 博	川上 敏夫	斉藤 哲雄	佐川 静夫	塩田 清	下嶋 義範	高尾 武
滝川 麗子	玉木 克彦	鳥飼 康子	中川 彊	中野 弘	西岡 美鈴	西岡 守彦
林 忠夫	船橋 國則	三橋 弘道	森岡 茂孝	山澤 興英	山田 英明	吉井 俊郎
米田 嘉明	米田 博一					

会長／石井寅三郎 幹事／中川 彊／鳥飼康子／斉藤哲雄 名誉顧問／後藤至彦